

令和5年8月22日（火）



24日間の夏休みを終え、本日から85日間の長い2学期がようやくスタートしました。始業式の校長の話では、「飯豊手ノ子小150周年を祝い隊」が、8月5日（土）の山形花笠まつりに参加してきたことを取り上げました。そして、「日本各地でお祭りがなぜあるのか、山形花笠まつりの歴史と手ノ子小のこれまでの取組を振り返りながら考えてみよう」と子どもたちに投げかけました。

子どもたちは、令和3年度から今年度にかけて、町内外のたくさんの方々にお世話になり、中津川地区の花笠づくりという手ノ子小学区の宝物と花笠踊りについて学習を深めました。その集大成として参加した山形花笠まつりでは、一生に一度の、夏休みにしかできない特別な体験ができた上に、手ノ子小の150周年を祝い、学校と飯豊町を宣伝することができました。花笠の取組を通して、新しい出会いと確かなつながりが生まれ、花笠について広く深く学んだことを社会に生かすことができたことは、正しく探究的な学びと言えます。

話のまとめとして、「お祭りに参加すると、日頃味わえない感動や刺激を直接体験でき、生きる喜びを味わえる。お祭りには、人と人とのつながりを強め、地域を元気にする力がある」ということを子どもたちに伝えました。

2学期も、創立150周年記念運動会に向けて、そして、西部地区、中津川地区の文化祭での学習発表に向けて、みんなで協力して粘り強く取り組み、仲間との絆を深めるとともに、地域の人とつながり元気を届けてほしいと思います。

太陽に向かってぐんぐん成長する玄関脇のヒマワリは、最高で約3m50cmまで草丈を伸ばしています。風雨で倒れぬようそっと支える支柱のように、2学期も、15名の子どもたちを、9名の教職員全員で支えていきたいと思っています。

令和5年8月28日（月）



今週からいよいよ運動会特別時間割が開始されました。今年度は、異常気象により災害級の暑さともいえる日が続いており、熱中症の危険性が高まっています。環境省の熱中症アラート発令中は特に注意を払い、グラウンドや体育館に設置している熱中症指数計の暑さ指数を確認しながらの活動となります。

本日の昼休みの時間に体育館で行う予定だった運動会結団式も、ホールに変更して行いました。本校の校舎がオープン教室になっていることを利用して、2階の空き教室のエアコンを稼働させ、数台の扇風機で冷風をエアコンが設置されていない1階ホールに送り、熱中症の未然防止に努めました。

赤白各組頭に団旗を授与した後、校長から、一昨日から昨日にかけて、民放の放送局で放送していたチャリティー番組の「明日のために今日つながろう」というテーマに触れて以下のような話をしました。

私がこのテーマをいいなと感じたのは、番組を視聴しながら、「未来の自分は、今日の、今の自分の積み重ねだ」ということを改めて確かめられたからです。過去の失敗を悔んでくよくよしたり、未来の失敗を心配してめそめそしたりして、今日の、今の自分をあきらめてしまったら、未来のよりよい自分に続く道は、そこで途切れてしまいます。失敗している今の自分は、勇気を出して未来のよりよい自分への道を前に進んでいる証拠なのです。あきらめない限り、未来のなりたい自分への道はつながっているはずですよ。ですから、運動会当日、どんな自分になりたいか、具体的にイメージして、一日一日を大切に、失敗を恐れずに最後までやり切りましょう。おうちの人や先生たちは、みなさんを支えることはできるけれど、どんな自分に成長したいか決めるのはあくまでもあなた自身です。

今年の運動会は、創立150周年記念大会となります。赤白が本気で競い合い、最後は一緒に盛り上がり、夏休みの花笠まつりのように、一生の思い出に残る特別な運動会にしてほしいと願っています。

令和5年9月8日（土）



先週は熱中症予防、今週は感染症予防に努めながら、時間や場所、人数の制限のある中で150周年記念運動会に向けて準備を進めてきました。残念ながら全校生はそろいませんでしたが、熊野教育長様をはじめ地域のご来賓の皆様をお招きし、盛大に運動会を開催することができました。

特に、6年生が男子4名ということで、必然的に両組頭・副組頭となった4人にとっては、小学校最後の運動会に架ける思いは強いものがあったと思います。開会式の両組頭の選手宣誓の言葉には、

「今年は、3年ぶりに1年生を迎え、また150周年記念運動会として行います。今年は地域の方々に、1年生の新しい力とこれまでの伝統を披露できればと思い、精一杯練習してきました。今日は、1人1人が、全力を出し切り、赤組も、

白組も、力の限り、正々堂々と、元気を与える、最高の運動会にすることをちかいます！」という熱い思いが込められていました。

優勝旗・準優勝杯返還後、校長からは、「手ノ子小の子どもらしく、【あ】最後まであきらめず全力で競い合って、【い】熱中症から命を守りながら、【う】ルールを守る美しい心で正々堂々と、【え】最後は勝っても負けても笑顔で終われるように、【お】思いやりの心で仲間と励まし合いながら、150周年をお祝いするお祭り気分盛り上がっていきましょう。」と励ましの言葉を述べました。

子どもたちは、たくさんの汗と声を出し、時には涙を流しながら、最後は全員晴れやかな笑顔で150周年特別種目「家族で踊ろう花笠音頭」を地域のご来賓と祖父母の皆様にご披露することができました。子どもたち一人一人が主役となって、手ノ子小の【あ】【い】【う】【え】【お】を体現した運動会だったと思います。

終了後には、校舎の3階には児童と教職員、2階にはPTAの皆様、1階には祖父母と地域のご来賓の皆様にご集合いただき、飯豊町観光協会さんご協賛によるドローンによる記念撮影を行うことができました。

子どもたちの応援に駆けつけてくださったご来賓と祖父母の皆様、早朝の準備から終了後の後片付けまでご協力くださった保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

令和5年9月15日（金）



一昨日の総合的な学習の時間に、八幡神社獅子連中の方に来ていただき、獅子舞について学びました。今年度はクラブ活動の時間に獅子舞の練習に取り組んでいるため、お祭りや獅子舞についての関心が高まっています。子どもたちは、もっと知りたいという質問がどんどん出てきて、前もって獅子連中の方にお送りしていた質問リストをもとに、長老という役職の方に質問をしました。Q&A形式で進められた学習では、「獅子舞について」と「巫女の舞について」に分けて質問をし、それぞれについて答えていただきました。

あらかじめ調べたことをプレゼンにまとめてくださり、とても分かりやすい説明をいただきました。子どもたちは、「獅子にある波の模様はなぜあるのか」とか「獅子の中に入るのはなぜ男性限定なのか」、「巫女の服はなぜ赤白なのか」等、素朴な疑問をどんどん投げかけましたが、一つ一つ丁寧に答えていただきました。

もうお一方は、ご自分で獅子頭を彫っておられる方で、実施に製作した獅子頭を持って来ていただき、実物を見ながらお話を聞かせていただきました。「どんな道具をつかって獅子を彫っているのか」とか、「なぜ、漆を使うのか」、「獅子の毛は何を使っているのか」等の質問に対し、制作過程や注意点等について分かりやすく教えていただきました。また、化学塗料と違い、何度も塗り重ね、乾いていく中で深みのある艶が出てくるといふ、漆のすぐれた性質も学ぶことができました。他にも、長井市や置賜地区にある様々な獅子頭の写真を見せていただきながら、その多様性と奥深さに触れることができました。

2時間近く集中して聞き入った子どもたちは、ますますお祭りや獅子舞に対する関心が高まってきました。

令和5年9月27日（水）



昨日26日（火）から10月2日（月）まで、中学校のテスト週間に合わせて、本校で2回目となる学習強調週間・はつらつがんばり週間が始まりました。日々はつらつ生き生きと生活し、学習に取り組むために、学校間、そして家庭との間で連携を深めながら、望ましい生活習慣や学習環境づくりを進めています。

2回目の重点として、「きちんと立腰」を追加し、力を入れていくことにしました。養護助教諭が学校支援員と「立腰」についての動画を作成し、昨日の給食の時間と今日のなかよし会食の時間の2回に分けて放送し、意識付けの強化を図りました。

立腰は、号令だけで終わらないということや、立腰の座り方の大事なポイントを合言葉で表した「ピタッ（足の裏を床につける）」「サッ（拳一つ分空けて椅子を引く）」「ピン（腰骨を立てる）」について、分かりやすく説明してくれました。

また、背骨の中は脊髄という大切な神経の通り道でもあるし、背骨の前には心臓・肺・胃・腸・肝臓といった大事な臓器がいっぱい詰まっています。姿勢がよいと内臓や自律神経の圧迫を防ぎ、背骨の歪みから起こる体の不調を防げるということも、分かりやすく説明してくれました。

今年度の幼小中一貫教育の推進策の一つに、学力を下支えする「授業の構え」づくりとして「立腰」「正しい鉛筆の持ち方」を習慣付けることに取り組んでいます。学習強調週間・はつらつがんばり週間をきっかけに、今まで以上に立腰がきちんとできるように頑張ってもらいたいと思います。